

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.338

2201 通学送迎に要する経費 787,500 円 (787,500 円)

[国・県 206,000 円 一財 581,500 円]

\* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 206,000 円]

#### 目的

旧高須小学校が桜が丘小学校に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

#### 内容

登下校時に、桜が丘小学校と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 4年生：1人 2年生：1人

#### 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

### 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.340

2001 奨学生給付金 1,607,800 円 (1,297,300 円)

[その他 85,284 円 一財 1,522,516 円]

\* 特財内訳

[財産収入：奨学基金利子 85,284 円]

#### 目的

経済的に修学が困難な高校生の保護者に奨学資金を給付し、有為な人材を育成する。

#### 内容

給付額 月額 9,900 円

平成 20 年度の新規採用者 4 名

奨学生	20 年度	19 年度	18 年度
新規	4 名	4 名	6 名
継続	10 名	7 名	4 名
合計	14 名	11 名	10 名

#### 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

[担当：教育総務課] P.340

2101 奨学生貸付金 5,400,000 円 (6,360,000 円)

[その他 5,400,000 円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 6,890,800 円(償還者数：36 名)のうち 5,400,000 円]

#### 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

## 内容

貸付額 国立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円  
平成 20 年度の新規採用者 3 名

奨学生	20 年度	19 年度	18 年度
新 規	3 名	3 名	5 名
継 続	10 名	11 名	9 名
合 計	13 名	14 名	14 名

種 別	20 年度	19 年度	18 年度
国公立大学	2 名	3 名	3 名
私立大学	11 名	11 名	11 名
合 計	13 名	14 名	14 名

## 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

### 1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.340

0501 教育振興に要する経費 77,087,115 円 (74,753,054 円)

[国・県 50,000 円 一財 77,037,115 円]

\* 特財内訳

[県委：学校体育研究推進校事業委託金 50,000 円]

#### 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

#### 内容

・英語指導助手業務委託料 64,863,750 円

英語指導助手 14 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 3 校に 1 人配置)の派遣を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

・特色ある学校づくり補助金 5,200,000 円

小・中学校における教職員、家庭、関係諸機関・団体と協力しながら、学校の活性化を図るとともに、特色ある学校づくりのための事業活動に対し、補助金を交付した。  
小学校 200,000 円×18 校  
中学校 200,000 円×8 校

・現職教育振興事業補助金 200,000 円

・学習ボランティア(心の先生含む)謝礼 461,000 円

・その他(需用費・負担金等) 6,362,365 円

#### 効果

各小中学校児童生徒の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。また補助金を活用し、学校の活性化と特色ある学校づくりの推進が図られた。

[担当：指導課] P.344

2301 適応指導教室事業に要する経費 21,394,152 円 (22,606,439 円)

[一財 21,394,152 円]

#### 目的

不登校児童生徒の適応力を高め、学校へ復帰する力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団不適応の児童生徒に適切に対応するため学校や関係諸機関との連携を図りながら児童生徒や保護者への指導を行う。

#### 内容

教育相談員 7 人と担当指導主事が、集団活動や教科指導、個別カウンセリング等を行い、児童生徒が徐々にコミュニケーション力を高めながら学校や学級集団に適応し、不登校状態の児童生徒が学校生活に復帰できるよう援助し、また不登校等に関する保護者からの相談に応じた。

#### 効果

平成 20 年度は小中学生計 11 人の通室者のうち、11 人全員が学校生活に復帰することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H20	11 人	11 人	100%
H19	14 人	13 人	93%

[担当：指導課] P.346

2401 特別支援教育相談員に要する経費 1,224,000 円 (1,289,571 円)

[一財 1,224,000 円]

#### 目的

障害のある児童、生徒及び幼児の適切な就学並びに支援を図るため、保護者や教職員の相談に応じたり、学校や幼稚園、保育所（保育園）に対して助言・指導したりできる特別支援教育相談員を設置する。

#### 内容

##### (1) 児童等の就学や適応に関する調査

障害のある児童等の早期発見、早期対応及び適正な就学指導を行うために、学校や幼稚園、保育所（保育園）を訪問し、行動観察や検査を行う。

##### (2) 教職員や保護者に対する相談活動

教職員や保護者の要請に応じて、障害のある児童等への指導内容・方法について指導助言を行う。

平成 20 年度の相談件数（68 人）

- ・未就学児に関して...50 人
- ・小、中学生に関して...16 人
- ・教職員から...2 人

上記人数は相談対象である幼児、児童、生徒の人数である。したがって、延べの相談回数はさらに多い。

##### (3) 校内支援体制に関する指導助言

小中学校における特別支援教育の校内支援体制を充実させるために、各校の要請に応じて指導助言を行う。

## 効果

- ・ 障害のある幼児等を早期に発見することができるようになった。
- ・ 障害のある幼児等の適正な就学指導を進めるために、就学指導委員会で 29 人の幼児の事例を報告し、判定を受けることができた。
- ・ 障害のある就学前の幼児については、幼保と小学校とのつなぎ役となり、支援の移行が円滑に行われるようになった。
- ・ 小中学校のニーズに応じて指導助言を行うことで、訪問校の校内支援体制を整備することができた。

[担当：指導課] P.346

2901 問題を抱える子ども等の自立支援事業に要する経費 2,550,000 円  
[国・県 2,550,000 円] (3,000,000 円)

\* 特財内訳

[県委：問題を抱える子ども等の自立支援事業委託金 2,550,000 円]

### 目的

不登校解消のための訪問指導、適応指導教室相談員が隣接市と連携した行事の運営、学級満足度調査（小 6・中 1）を行うことで、不登校傾向の児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、調査等に基づいて学校生活をきめ細かく支援する。

### 内容

- (1) 3 市（取手市・守谷市・牛久市）適応指導教室間との連携を図り、学校復帰に向けたプログラムを研究し、実践した。
- (2) 不登校状態にある児童生徒の家庭訪問を行うことを通して、一人一人の児童生徒の支援に当たり、学校とのかかわりをもてるよう実践した。
- (3) 年間 30 日以上欠席者が減少した。（小中学生合計）

平成 18 年度：114 名      平成 19 年度：88 名      平成 20 年度 77 名

### 効果

適応指導教室の隣接自治体間交流を通して児童生徒が集団活動を通してコミュニケーションを深めることができた。また訪問指導により本人や保護者とのかかわりが増し、数年ぶりに再登校できた児童も見られた。また学級における集団生活満足度を調査し、児童生徒の自己理解の様子を知ることができた。

[担当：指導課] P.346

3001 学校評価の充実・改善のための実践研究に要する経費 6,487,753 円（0 円）  
[国・県 6,487,753 円]

\* 特財内訳

[県委：学校評価の充実・改善のための実践研究事業委託金 6,487,753 円]

### 目的

学校が自らの教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校及び設置者等が学校運営の改善を図ることが求められている。本市では特に、関係者が評価の必要性や目的といった情報を共有する方法や関係者評価委員会へ日常的に情報を提供する方法、報告資料作成の事務作業量の軽減などについて実践研究を行った。

## 内容

### ・実施校

井野小、戸頭西小、戸頭東小、山王小、桜ヶ丘小、取手一中、戸頭中、藤代南中

### ・運営委員会の設置

大学教授を含む運営委員会を組織し、学校評価についての理論研修及び具体的な学校評価の充実・改善のための支援を行った。

### ・校内研修用DVDの制作と活用

学校評価の必要性や目的、方法の共有化をするために学校評価ガイドラインに基づく研修用DVDを制作・活用した。

### ・報告資料作成支援テンプレートの制作

報告資料作成に活用できるテンプレートを作成し、各校における事務作業量の軽減を図った。

### ・学校評価研究ICTスタッフの配置

学校評価研究に携わるICTスタッフを配置した。「報告資料作成支援テンプレート」の制作や「アンケートの作成・集計ソフトウェアの活用支援」を行った。

## 効果

各校が学校評価を実施するにあたり、重点化された具体的な目標設定の在り方、評価項目や評価指標の設定の在り方等についての検討、研修用DVD制作、テンプレート作成等を行った。市内各校が共通認識に立って学校関係者評価を実施できる体制を整えることができた。

[担当：指導課] P.346

3101 理科支援員等配置に要する経費 906,000円(0円)

[国・県 906,000円]

\* 特財内訳

[県委：理科支援員等配置事業委託金 906,000円]

## 目的

全小学校において、理科の授業での観察・実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動を行う人材を派遣することにより、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図るとともに、小学校教員の理科指導力の向上を図る。

## 内容

### (1)理科支援員の配置

配置校及び対象：井野小学校、戸頭東小学校、久賀小学校

小学校5、6年の11学級

内容：観察・実験活動等の準備、実験支援、後片付け、教材開発、観察・実験活動等技能向上支援等

謝礼：1時間 1,000円

### (2)理科特別講師の派遣

対象：理科支援員を配置していない小学校

(戸頭西小、稲小、寺原小、山王小、井野小、吉田小)

内容：先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、実験等

(4人の製薬研究者を招聘)

## 効果

理科支援員による授業支援は、教師が児童に直接向き合う時間を増加させるとともに、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図ることに有効であった。また、理科特別講師による授業は、児童の理科に対する興味関心を高めるだけでなく、夢を持つことの大切さ等、キャリア教育の視点からも効果があった。

[担当：指導課] P.348

4001 子どもと親の相談員に要する経費 4,373,000 円 (2,999,000 円)

[一財 4,373,000 円]

## 目的

不登校解消は、早期の段階での対応が効果的である。小・中学校に相談員を配置して、相談相手、給食時の会食、授業における適応支援等の働きかけを行うことにより子どもの悩みや不適応に対応する。また保護者の相談に応じ、不登校解消やいじめ等の対応に取り組む。

## 内容

主に以下の業務を行った。

- (1) 児童及び保護者の相談、および適応指導
- (2) 家庭・地域と学校の連携支援
- (3) 小・中連携、関係機関、児童福祉に係る課との連携支援
- (4) その他学校の教育相談活動支援

この表は、19年度は配置10校のみの数値であり、20年度は全校配置となったので26校の数値である。

年 度	配置校数	不登校児童数	いじめ件数
H19	10 校	12 人	44 件
H20	26 校	77 人	77 件

## 効果

- ・課題を抱える児童の支援及び不安感を抱く保護者の悩み相談のためには面談や電話相談を継続的に行うことが効果的であった。児童の不適応や不登校傾向の解消や保護者への支援ができた。こうした悩みの解消や緩和が、学校生活に起因する諸問題の改善に直結した。例として、ひきこもりがちであった児童が数名、登校することができ、教室や保健室や特別教室で過ごすことができた。
- ・いじめの早期発見にもつながり、保護者の抱く学校への不満などに対しても対応することができた。

[担当：指導課] P.348

4201 日本語指導員に要する経費 2,854,450 円 (1,056,155 円)

[一財 2,854,450 円]

## 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

#### 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

配置指導員数 8 人 (中国語 3 人、ポルトガル語 2 人、スペイン語 2 人、英語 1 人)

#### 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

[担当：指導課] P.348

4301 スクールライフサポーター活用調査研究事業に要する経費 840,000 円

[国・県 840,000 円] (840,000 円)

\* 特財内訳

[県委:スクールライフサポーター活用調査研究事業委託金 840,000 円]

#### 目的

子どもにとってお兄さん・お姉さんの存在としてのスクールライフサポーターが子どもと関わり、人間関係を築き、良き相談相手となり不登校問題を解消する。

#### 内容

- (1) 不登校や不登校傾向の児童に対する家庭訪問等による支援
- (2) 休み時間を活用し、相談相手、遊び相手としての支援や集団適応の援助
- (3) 授業時間における学習支援

年 度	配置校数	不登校児童数
H20	2 校	1 人
H19	2 校	2 人

#### 効果

不登校児童の数が 2 校で 1 人のみという結果であり、このことは不登校傾向の児童の気持ちが安らぐような働きかけ（会話や共に過ごす時間、同伴登校など）が奏功したと言える。不登校の未然防止や早期解決に至った例も多く見られた。子どもたちとのかわりが深まり、子どもたちのコミュニケーションスキルや人間関係づくりが深まったと考えられる。

[担当：指導課] P.348

4501 学力向上推進事業に要する経費 2,317,246 円 (2,545,726 円)

[一財 2,317,246 円]

#### 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、確かな学力を育成するため、指導体制や指導方法の確立など「授業力の向上」を目指した取組を中心に事業を進め、教職員の資質の向上を図る。

#### 内容

- 6 月～2 月 授業研究会(国語・算数数学 14 回)(小学校外国語活動 2 回)  
6 月～3 月 ICT 活用支援事業(授業支援 46 回 研修支援 21 回 各校担当者支援 49 回)  
7 月 24 日 第 1 回小学校外国語活動研修会

8月22日 第2回小学校外国語活動研修会

1月30日 授業力向上研修会(講演会)「国語科のPISA型読解力の育成について」

2月～3月 市内小中学校児童生徒用「家庭学習の手引き」作成

効果

研修会や講演会、ICT活用支援事業を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科及び小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となった。また、ICT活用支援事業においても、教職員のICT活用回数が増加するなど、事業の成果向上がみられた。

[担当：指導課] P.348

4601 夏休みスクール事業に要する経費 410,000円(0円)

[一財 410,000円]

目的

小学校の夏季休業期間中に教師と学習支援員が連携し、特に算数科における児童の不得意分野の学習を支援することで、児童の学ぶ意欲の向上を図り、確かな学力を育成する。

内容

・実施期日

7月22日(火)～25日(金)、28日(月)及び8月25日(月)～29日(金)

・対象学校、児童

市内3校の小学校6年生の希望者

・指導者

市内3小学校(井野小、戸頭東小、高井小)に2名ずつの学習支援員を配置する。

・学習内容

コンピュータの学習コンテンツを活用して、算数科の補足的な学習をする。

(支援員の予算化は3小学校のみであるが、他に14小学校についても実施。)

効果

正答や誤答に応じて個々の児童に適した問題が出題されることや、教師と学習支援員による個別の支援により、算数への不得意意識を減らすことができるなど、児童の学ぶ意欲が向上し、確かな学力の育成につながった。

[担当：指導課] P.348

4701 学校問題解決サポートチームに要する経費 25,200円(0円)

[一財 25,200円]

目的

学校問題に関して、その内容が重大、広範囲、従来 of 想定を越える等の場合、その解決や対処に当たって専門家からの助言を得るものである。専門的な知識を有するチーム員によるサポートチームを結成し、学校と教育委員会が問題対応に当たる際に、このチーム員に専門的アドバイスを受けた上で解決に当たる。

内容

弁護士、医師、カウンセラー、元警察官、児童福祉司(児童相談所職員)、保健所職員という各分野の専門家に助言を得ることによって、重大な学校問題発生の際に適切

迅速に解決に向けて対処できるようにする。サポートチームは上記の専門家と教育委員会職員とで結成される。

#### 効果

平成 20 年度は、立ち上げ年度であり、弁護士(市顧問弁護士)、医師(市内開業医)、カウンセラー(市内在住大学教授)、元警察官(市内在住元警視庁職員)、土浦児童相談所取手地区担当職員、竜ヶ崎保健所健康増進課長をチーム員として委嘱し、会合を実施した。県内でも初となるこのような趣旨の会の発足であり、本事業の趣旨の確認、現代社会に起きうる重大問題等に関する意見交換等を行い有益な情報交換がなされた。なお 20 年度間においては対応すべき重大な問題は発生しなかった。

### 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.350

1001 青少年健全育成に要する経費 11,086,284 円(11,074,310 円)

[国・県 58,000 円 一財 11,028,284 円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員事業補助金 58,000 円]

#### 目的

青少年センターを中心とした特別青少年相談員、青少年相談員の相談活動及び街頭指導等により、青少年の健全育成を図るとともに、青少年育成団体に助成を行い、青少年の非行を防止し、青少年が安心して生活できる街づくりを目指す。

#### 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,110,000 円(月額 9,400 円 56 人)  
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円 2 人)
- ・負担金、補助及び交付金 11 団体 1,579,600 円

#### ○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.352

1101 青少年問題協議会に要する経費 131,694 円(127,850 円)

[一財 131,694 円]

#### 目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

#### 内容

- ・青少年問題協議会委員報酬 56,700 円
- ・善行青少年表彰記念品 56,994 円

#### 効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関(警察、小中高校等)相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.354

2001 小学校管理に要する経費 213,527,043 円 (201,793,750 円)

[国・県 8,637,120 円 その他 30,437 円 一財 204,859,486 円]

\* 特財内訳

[県補：TT 特別配置事業費補助金 8,637,120 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 30,437 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

- ・TT 特別配置事業により、県からの TT 加配がついていない小学校 11 校（白山小、小文間小、井野小、戸頭西小、吉田小、高井小、山王小、六郷小、藤代小、久賀小、宮和田小）に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。（17,196,858 円）
- ・教育補助員を 15 校（取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に配置し、障害のある児童の教育支援を行った。（32,797,968 円）

効果

- ・TT 非常勤講師の配置により個人差に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。
- ・教育補助員を配置することで、障害のある児童の教育支援ができた。

[担当：教育総務課] P.356

2101 小学校施設管理に要する経費 41,981,212 円 (43,912,461 円)

[一財 41,981,212 円]

目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	8,622,022
	各小学校の施設修繕料（学校配当分）	5,942,823

(2) 委託料

(単位：円)

委 託 名	内 容	委 託 料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（小文間小、永山小、高井小、山王小、六郷小、宮和田小）	2,589,300
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	2,973,600
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	294,000
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,544,360
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	653,100

高架水槽及び受水槽 清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,249,500
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手小、白山小）	1,417,500
給水管漏水調査委託	漏水調査（井野小、寺原小、戸頭西小）	558,600
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,379,700
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,669,500
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（取手小、山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）	779,940
テレビ共同受信設備 保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手小）	1,417,500
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手小）	831,600
自動ドア保守点検委託	自動ドアの保守点検（取手小）	220,500
太陽熱温水設備 保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手小）	189,000
校庭散水設備保守点検委託	校庭散水設備の保守点検（取手小、寺原小）	69,300
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽等の保守点検（取手小）	304,500

(3)使用料及び賃借料、原材料費

(単位：円)

項目	内容	金額
使用料及び賃借料	電柱共架料	123,480
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	155,095
	各小学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	317,710

効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.358

2201 小学校保健衛生に要する経費 32,180,574 円（35,085,967 円）

[その他 2,277,920 円 一財 29,902,654 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 × 4,952 人 = 2,277,920 円]

目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医、歯科医、薬剤師（産業医） 70 人(18 人)
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会、(財)茨城県総合検診協会

(単位：人)

区分	尿	蟯虫	貧血	心臓	胃	結核・ 肺ガン	小児生活 習慣病	生化学 検査
対象	全学年 職員	1・2・3 年	2・4・6 年 職員	1 年 職員	40 歳 以上 職員	職員	4 年	職員
H20	5,430	2,524	2,047	975	18	137	734	110
H19	5,808	5,424	2,434	1,288	13	218	5,423	320

蟯虫・小児生活習慣病・・・19 年度は全学年対象

## 効果

定期検診を実施することにより、児童に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.360

2001 小学校教育振興に要する経費 14,812,612 円 (14,998,191 円)

[一財 14,812,612 円]

### 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

### 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18 校) 12,109,307 円

卒業記念品 (英和辞典) 872,392 円

### 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.360

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 29,200,439 円 (28,084,895 円)

[一財 29,200,439 円]

### 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

### 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	特別支援 学級教材	理科教材	図 書	合 計
H20	16,654,423	299,985	1,875,969	8,433,704	27,264,081
H19	17,342,507	299,682	2,966,916	5,600,068	26,209,173

### 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、学校図書館の図書については、国の「新・学校図書館図書整備 5 力年計画」に基づき、増冊分に加えて、廃棄される図書の更新分も含めた図書整備が図れた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.360

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 39,514,849 円 (34,958,293 円)

[一財 39,514,849 円]

### 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

### 内容

主に小学校 18 校のパソコン使用料 (各校 21 台) に要する経費である。

主な事業費内訳

・パソコン使用料	32,771,496 円
・ネットワーク配信コンテンツ使用料	680,400 円
・ネットワーク配信コンテンツソフト使用料	1,725,195 円
・学校ポータル運用管理業務委託	2,268,000 円

効果

小学校 18 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.360

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 25,884,915 円 ( 24,350,558 円 )

[国・県 591,000 円 一財 25,293,915 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 114,000 × 1/2 = 57,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,068,000 × 1/2 = 534,000 円]

目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H20	17 人	369 人	386 人
H19	21 人	346 人	367 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H20	82 人	51 人
H19	75 人	45 人

効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.362

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,199,334 円 ( 1,991,084 円 )

[一財 2,199,334 円]

目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

内容

市音楽会・諸発表大会児童派遣費補助金	738,304 円
陸上記録会補助金	1,230,000 円
その他（賞状印刷代）	231,030 円

効果

諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツや音楽への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.364

2101 小学校施設整備に要する経費 75,010,333円 (122,879,950円)

[地方債 31,900,000円 一財 43,110,333円]

\* 特財内訳

[市債：小学校整備事業債 42,567,000×75% 31,900,000円]

目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
戸頭西小プール改修工 事実施設計業務委託	戸頭西小プール改修工 事実施設計業務	H20.5.3 ~ H20.8.29	483,000
高井小給水設備改修工 事実施設計業務委託	給水設備老朽化に伴う工 事実施設計業務	H20.6.7 ~ H20.9.12	766,500
小文間小資料室・会議 室・印刷室内部改修及 び渡り廊下設置工 事実施設計業務委託	校舎の内部改修及び渡り 廊下工 事実施設計業務	H20.9.26 ~ H20.12.15	483,000
アスベスト含有調査業 務委託	アスベスト分析調査業務 (白山小、永山小、井野小、 白山西小、戸頭西小、 戸頭東小、高井小、六郷小、 藤代小、宮和田小、桜が丘小、 旧高須小)	H20.8.5 ~ H20.9.30	724,500

(2) 工事請負費

(単位：円)

工事名	内容	工期	工事費
戸頭西小プール改修工 事	戸頭西小プール改修工 事 プール本体架台補強・プール サイド床・周囲ネットフェ ンス改修	H20.10.11 ~ H21.1.20	20,790,000
高井小給水設備改修工 事	高井小給水設備改修工 事 受水槽・高架水槽・給水 ポンプ・給水管改修	H20.10.16 ~ H21.2.16	20,527,500
小文間小資料室・会議 室・印刷室内部改修工 事	校舎の内部改修工 事 資料室・会議室を普通教 室に、印刷室を保健室に 改修	H21.1.15 ~ H21.3.16	6,384,000
井野小ランチルーム・ 教育相談室内部改修工 事	校舎の内部改修工 事 ランチルーム・教育相談 室を普通教室に改修	H21.1.15 ~ H21.3.16	5,544,000
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		16,478,910

効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：公共施設整備課・教育総務課] P.364

2201 小学校建設事業に要する経費 479,273,700円(355,602,860円)

[国・県 216,820,000円 地方債 198,200,000円 一財 64,253,700円]

\* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

寺原小学校

地震補強

(100,910,000×1/2) + (100,910,000×1/2×0.01) 50,959,000円

大規模改造(老朽)

(264,697,000×2/7) + (264,697,000×2/7×0.01) 76,383,000円

大規模改造(障害)

(43,632,000×2/7) + (43,632,000×2/7×0.01) 12,591,000円

大規模改造(トイレ)

(58,520,000×2/7) + (58,520,000×2/7×0.01) 16,887,000円]

[県交：合併特例交付金 60,000,000円]

[市債：合併特例債 (405,090,000 - 206,820,000)×95% 188,300,000円]

[市債：減収補てん債 (405,090,000 - 206,820,000)×5% 9,900,000円]

目的

戸頭西小体育館耐震補強工事实施設計・藤代小校舎大規模改造工事实施設計及び寺原小学校校舎大規模改造工事を行い、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。

内容

(1) 委託料

(単位：円)

委託名	内容	工期	委託料
永山小敷地測量業務委託	永山小敷地の境界確認、境界表示物設置及び測量業務	H20.6.7 ~ H21.2.27	2,236,500
藤代小大規模改造工事に伴うテレビ電波障害事前調査業務委託	エレベーター棟の増築に伴うテレビ電波障害事前調査業務	H20.12.25 ~ H21.1.23	126,000
寺原小校舎大規模改造工事監理業務委託	大規模改造工事(耐震補強含む)の工事監理業務	H20.6.28 ~ H21.3.25	9,450,000
寺原小旧理科室棟解体工事監理業務委託	解体工事の工事監理業務	H20.5.15 ~ H20.10.7	896,700
永山小校舎・体育館改築工事基本設計業務委託	校舎・体育館改築工事基本設計業務	H20.11.8 ~ H21.3.25	7,875,000
白山小体育館基本計画業務委託	体育館改築にあたり、校舎等を含めた配置計画業務	H20.11.8 ~ H21.3.16	1,407,000
藤代小大規模改造工事实施設計業務委託	大規模改造工事(耐震補強含む)の実施設計業務	H20.6.7 ~ H21.2.16	10,384,500
戸頭西小体育館耐震補強工事实施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H20.11.18 ~ H21.3.25	2,992,500

## (2) 工事請負費

(単位：円)

工 事 名	内 容	工 期	工事費
寺原小学校校舎大規模改造工事	ブレース 15 箇所・耐震スリット 5 箇所の補強工事等	H20.6.27 ~ H21.3.16	395,640,000
寺原小旧理科室棟解体工事	R 造 2 階建 542 m <sup>2</sup> の解体工事	H20.5.10 ~ H20.9.30	48,195,000

## 効果

戸頭西小体育館耐震補強工事実施設計・藤代小校舎大規模改造工事実施設計(耐震補強含む)により安全・安心な学校づくりのための準備が整った。また、寺原小校舎大規模改造工事により、耐震性能が確保され児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.366

2001 給食運営に要する経費 310,083,392 円 (303,511,216 円)

[その他 191,866,130 円 一財 118,217,262 円]

\* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 191,866,130 円]

## 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

## 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 7,611,930 円(5 人)

## (2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検(14校)	1,402,170
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(12校)	2,097,900
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃(12校)	1,795,587
給食室病害虫防除委託料	給食室の病害虫の防除(12校)	385,000
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(8校：取手小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭東小、戸頭西小、吉田小)	87,907,743

## 効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び、給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.368

2101 給食施設整備に要する経費 5,957,847 円 (4,708,605 円)

[一財 5,957,847 円]

## 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容		
備品整備	・牛乳保冷库（久賀小）	735,000 円
	・給食室用ボイラー（小文間小）	1,989,750 円
施設整備	・給食室手洗器修繕（稲小）	493,000 円
	・給食室小荷物専用昇降機修繕（戸頭西小）	124,950 円

効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実が図れた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.370

2001 中学校管理に要する経費 83,062,683 円（88,015,611 円）

[一財 83,062,683 円]

目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

内容

- ・教育補助員を 2 校（取手東中、藤代南中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。（2,714,000 円）

効果

- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の教育支援ができた。

[担当：教育総務課] P.372

2101 中学校施設管理に要する経費 20,445,581 円（20,511,896 円）

[一財 20,445,581 円]

目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

内容

(1) 需用費 (単位：円)

項目	内容	金額
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,267,850
	各中学校の施設修繕料（学校配当分）	2,873,429

(2) 委託料 (単位：円)

委託名	内容	金額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,438,100
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（永山中、野々井中、藤代中、藤代南中）	1,449,000
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,344,000
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	152,250
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,102,500
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検（取手二中、藤代中）	1,151,640
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	287,700
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	593,250
給水管漏水調査委託	漏水調査（永山中、取手第一中）	312,900

樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	611,100
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	1,210,650
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(藤代中、藤代南中)	123,900

(3) 原材料費 (単位：円)

項目	内容	金額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	132,174
	各中学校施設補修用材料の購入(学校配当分)	143,358

効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.374

2201 中学校保健衛生に要する経費 15,695,379 円 (17,390,193 円)

[その他 1,066,740 円 一財 14,628,639 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 × 2,319 人 = 1,066,740 円]

目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

内容

- ・学校嘱託医・歯科医・薬剤師(産業医) 34 人(8 人)
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会、(財)茨城県総合健診協会

(単位：人)

区分	尿	蟻虫	貧血	心臓	胃	結核	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	-	2 年職員	1 年職員	40 歳以上職員	生徒職員	2 年	職員
H20	2,666	-	715	1,131	19	1	622	94
H19	2,771	2,480	880	1,204	7	125	2,550	183

蟻虫・・・20 年度は検査なし 小児生活習慣病・・・19 年度は全学年対象。

効果

定期検診を実施することにより、生徒に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.376

2001 中学校教育振興に要する経費 9,172,350 円 (9,459,022 円)

[一財 9,172,350 円]

目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品（8校） 7,527,154円  
 卒業記念品（国語辞典） 1,214,566円

効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.376

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 20,014,611円（18,665,584円）

[一財 20,014,611円]

目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

内容

（単位：円）

区分	生徒用教材	選択教科	理科教材	図書	特別支援学級教材	合計
H20	8,523,567	0	1,736,789	6,924,240	295,650	17,480,246
H19	8,921,798	220,210	1,954,118	4,694,217	299,975	16,090,318

効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、学校図書館の図書については、国の「新・学校図書館図書整備5カ年計画」に基づき、増冊分に加えて、廃棄される図書の更新分も含めた図書整備が図れた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.376

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 30,117,575円（28,402,357円）

[一財 30,117,575円]

目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

内容

主な経費

- ・パソコン使用料 27,425,160円
- ・ネットワーク配信コンテンツ使用料 302,400円
- ・ネットワーク配信コンテンツソフト使用料 741,776円
- ・学校ポータル運用管理業務委託 1,029,000円

効果

中学校8校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.376

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 25,397,135円（23,706,340円）

[国・県 272,000円 一財 25,125,135円]

\* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 278,000 × 1/2 = 139,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 266,000 × 1/2 = 133,000 円]

目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H20	25 人	237 人	262 人
H19	11 人	220 人	231 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H20	21 人	8 人
H19	27 人	15 人

効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.376

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,642,565 円 ( 11,873,901 円 )

[一財 11,642,565 円]

目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

内容

音楽コンクール・市音楽会・諸発表大会生徒派遣費補助金	2,575,051 円
体育大会等派遣補助金	8,767,508 円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	300,006 円

効果

諸発表・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P.378

3001 中学校スポーツエキスパート活用事業に要する経費 577,500 円

[国・県 192,500 円 一財 385,000 円] ( 660,000 円 )

\* 特財内訳

[県補：スポーツエキスパート活用事業費補助金 192,500 円]

目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

## 内容

### 運動部活動における外部指導者の活用

- ・ 1 運動部につき、年間 27 回の活用
- ・ 1 回の指導時間は 2 時間程度
- ・ 年間を通じて継続的に実施

学 校 名	部活動名 (外部指導員人数)
取手二中	テニス(1人)、剣道(2人)、卓球(1人)
永山中	バスケット(1人)
野々井中	野球(1人)
藤代中	テニス(1人)

## 効果

4 校 7 人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

## 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.378

2001 中学校施設整備に要する経費 14,465,137円 (58,541,941円)

[一財 14,465,137円]

### 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

### 内容

#### (1) 委託料

(単位：円)

委 託 名	内 容	工 期	委託料
アスベスト含有調査 業務委託	アスベスト分析調査委託 (取手第一中、永山中、戸頭中、取 手東中、藤代南中)	H20.8.5 ~ H20.9.30	399,000

#### (2) 工事請負費

(単位：円)

工 事 名	内 容	工 期	工事費
戸頭中防球ネット増設工 事	戸頭中防球ネット増設工事 防球ネット(高さ12m・延長20m) 増設	H20.7.4 ~ H20.8.15	1,291,500
戸頭中ネットフェンス改 修工事	戸頭中ネットフェンス改修工事 ネットフェンスの張替え(延長351 m) 柱、同縁の改修	H20.12.9 ~ H21.1.30	2,001,037
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事		10,494,750

## 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

## 3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.380

2001 給食運営に要する経費 169,542,401円 (156,400,918円)

[その他 99,144,844円 一財 70,397,557円]

\* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代（自校分） 99,144,844 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

(1) 臨時栄養士等賃金 4,033,710 円（3人）

(2) 委託料

（単位：円）

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検（8校）	903,210
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃（6校）	1,044,750
給食排水槽清掃委託	給食室用排水槽の清掃（6校）	892,413
給食室病害虫防除委託料	給食室の病害虫の防除（6校）	192,500
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。（5校：取手一中、取手二中、戸頭中、永山中、取手東中）	53,282,460

効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.382

2101 給食施設整備に要する経費 1,915,270 円（1,638,019 円）

[一財 1,915,270 円]

目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

内容

備品整備	・給食用球根皮剥き機（取手第二中）	194,250 円
	・リフト用運搬車（取手第一中）	70,350 円
施設整備	・給食室小荷物専用昇降機修繕（取手東中）	383,250 円

効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.384

2001 幼稚園管理に要する経費 6,575,765 円（4,409,792 円）

[その他 3,891,612 円 一財 2,684,153 円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 140,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 3,751,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 612 円]

#### 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

#### 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料(月) 5,500円 入園料 4,000円

年度	4歳児	5歳児	合計
H20	28人	31人	59人
H19	28人	21人	49人

#### 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.386

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 638,768円(640,984円)

[その他 7,695円 一財 631,073円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×57人=7,695円]

#### 目的

学校保健法に基づき、園児及び教職員の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

#### 内容

- ・幼稚園嘱託医・歯科医・薬剤師 3人
- ・園児・教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

(単位：人)

区分	尿	蟯虫
対象	全園児	全園児
H20	57	57
H19	51	49

#### 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

#### 4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.388

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 88,064,935円(83,607,903円)

[国・県 23,510,000円 一財 64,554,935円]

\* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費 88,064,935×1/3以内 23,510,000円]

#### 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

内容

(単位:人)

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
市民税非課税世帯	2	13	27	35	77
市民税所得非課税世帯	1	13	12	15	41
所得割課税 34,500円以下	3	46	43	44	136
所得割課税 183,000円以下	24	232	314	295	865
合 計	30	304	396	389	1,119

効果

園児の保護者に対し、補助金を交付することにより幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当:学務課 H21 学務給食課] P.388

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 43,297,450円(43,016,600円)

[一財 43,297,450円]

目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

内容

対象者:取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	44人	414人	521人	519人	1,498人

補助額 43,222,500円

効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当:学務課 H21 学務給食課] P.388

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 3,300,000円(3,300,000円)

[一財 3,300,000円]

目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 300,000円×11園

効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当:学務課 H21 学務給食課] P.388

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 840,000円(1,760,000円)

[一財 840,000円]

#### 目的

障害児保育の振興を図る。

#### 内容

障害児を在園させている幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・障害児1人につき 年額 110,000円 ・対象園児 8人

#### 効果

幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.388

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 471,936円(404,603円)

[一財 471,936円]

#### 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

#### 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。 実施園9園 @730円×1,293h×1/2 471,936円

#### 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務課 H21 学務給食課] P.388

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 177,795円(179,820円)

[一財 177,795円]

#### 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

#### 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。 私立幼稚園 @135×1,317人=177,795円

#### 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.392

2001 成人式に要する経費 2,360,000円(2,098,099円)

[一財 2,360,000円]

#### 目的

成人に達した若者の新たな門出を祝す。

#### 内容

平成20年度成人に達する市内公立各中学校の卒業生から実行委員候補者を中学校に推薦依頼、成人式の企画運営を行うために実行委員会を結成し、事業を委託した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H20 (H21.1.11 実施)	男	646	457	70.7
	女	568	401	70.6
	計	1,214	858	70.7
H19 (H20.1.13 実施)	男	619	449	72.5
	女	557	416	74.7
	計	1,176	865	73.6

#### 効果

成人式実行委員会では、議論を交わし、式典の綿密な計画を練ることができた。また、記念品の選定、記念冊子の編集作業や、成人式当日のアトラクションを決定した。成人式の在り方を含め関係者の意見を参考にし、より良い式典が円滑に行われるよう工夫することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.392

2101 生涯学習フェスティバルに要する経費 45,850 円 (37,780 円)

[一財 45,850 円]

#### 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

#### 内容

藤代スポーツセンターを会場に「とりで生涯学習フェスティバル」をネットワークフェア 2008 と同時開催で実施した。

<とりで生涯学習フェスティバル>

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 150 人
歌声喫茶“灯”	なつかしい曲をギター伴奏にあわせ、スタッフと来場者が一緒に歌を歌うことをたのしむ	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び（お手玉・おはじき・ビーだま・ベーゴマ・あやとりなど）体験	約 200 人
グラウンドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグラウンドゴルフの体験	約 150 人
ふじしる野鳥と楽しむ会	バードウォッチング体験、写真・イラスト展示、野鳥のぬりえなどを体験	約 200 人
地女連コーナー	地女連の活動紹介	約 100 人

#### 効果

とりで生涯学習フェスティバルでは、学習活動を実践している団体やサークルなどによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代において交流と学びの場を提供することにより、市民の生涯学習の啓発を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.392

2201 生涯学習推進に要する経費 2,628,015 円 (2,904,169 円)

[一財 2,628,015 円]

#### 目的

市民一人ひとりが充実した生活を送れるよう、市民のニーズを幅広く反映させるとともに、各分野にわたる学習機会と情報を提供し、市民がいつでも・どこでも・楽しく学習できるような環境整備を図る。

#### 内容

##### (1) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」内容を、人材登録されているリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H20		H19	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編（登録指導者）	21	764 人	22	654 人
行政編（職員等派遣）	57	2,037 人	69	2,560 人

##### (2) とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材（指導者）の登録派遣制度。

リーダーバンク登録者 267 人（平成 21 年 3 月 31 日現在）

##### (3) 農業ふれあい体験事業

委託料 220,000 円（取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託）

##### 親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/10(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子 319 人 (うち台東区民 46 人)
	7/26(自然観察会)		
	9/13(稲刈り)		

##### (4) 家庭教育学級

市立幼・小中学校在籍の親を対象に家庭教育について、社会教育指導員の指導により学習会を実施した。 29 学級 参加延べ人数 1,229 人

#### 効果

学校完全週 5 日制に対応した取り組みとして、親子で自然体験の活動機会と場を提供し学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座においては、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級は「子育てと仲間づくり」をテーマに、子供達が心豊かにたくましく成長することを願って、読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等バラエティーに富んだ学習会を実施できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P394

2301 ネットワークフェア開催に要する経費 109,707 円 (111,504 円)

[一財 109,707 円]

目的

市をはじめ公共機関や、各分野の団体・市民らが協力し合い、日頃の活動・事業紹介やPRなどを交えたイベントを開催し、市民の交流促進と各種事業等の啓発を図った。

内容

「みんなでつなぐふれあいの輪」をキャッチフレーズに、藤代スポーツセンターをメイン会場、桐木消防署、県南総合防災センター、生き生きクラブをサブ会場として、生涯学習・産業・福祉などの41団体の参加により開催した。来場者は約5,000人。

効果

多くの来場者と、各分野の団体の出展により、新たなネットワークが形成され、市民や団体の交流が図られた。

[担当：文化芸術課] P.394

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,437,307円(3,497,804円)

[一財 3,437,307円]

目的

市民芸術活動、文化活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内 容	入場者数
第37回文化祭(取手地区)	10/19・25・26 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託し、市民が日頃行っている文化的活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会 場：取手市立市民会館 委託料：1,040,000円	5,300人
平成20年度取手市藤代文化祭	9/14～11/16 (2か月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託し、様々なイベントを開催して地域の文化・芸術の推進に寄与した。 会 場：藤代公民館 委託料：530,000円	3,227人
2008取手美術作家展	6/6～6/19 (14日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。30名48点を出品。 オープニングイベント フルートコンサート、ギャラリートーク他 市内小中学校ギャラリーツアーを3日間実施。 会 場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000円	2,083人
第39回取手市美術展	9/26～12/1 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 72点 第2部 日本画、写真、書、工芸 86点 第3部 小中学生、特殊学級 1,158点 会 場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：355,607円	4,534人

(2) 文化振興奨励金交付

事業名	金額	開催日	人数
取手市中学生バンドフェスティバル	65,000円	7/22	400人

(3) 市内の文化団体への助成

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	360,000 円	文化連盟運営の助成
少年少女合唱団	80,000 円	少年少女合唱団運営の助成
取手市藤代文化協会	270,000 円	文化協会事業の助成

効果

文化事業は、毎年恒例で大盛況である。各団体が行う各イベントも団体内部に活性化が見られ趣向を凝らしたイベントとなっている。

[担当：文化芸術課] P.394

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 95,875,840 円 (86,730,950 円)

[その他 9,542,000 円 一財 86,333,840 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 9,542,000 円]

目的

市民会館・福祉会館を設置し、市の産業、経済、文化、教養の向上と市民の福祉増進を図る。

内容

耐用年数の経過により老朽化している施設を年次計画に基づき改修を行った。また、市民会館及び福祉会館の管理運営を委託した。

・需用費（修繕料） 10,542,000 円

修繕名	概要	履行期間	金額
取手市立市民会館 舞台照明設備改修	照明設備（ボーダーケーブル・スポット類）の改修	8/1～10/10	9,135,000 円
取手市立福祉会館 1階女子便所修繕	便器周りの漏水・臭気・床の湿気対策を解消	9/13～10/27	1,407,000 円

・委託料（市民会館・福祉会館指定管理料） 84,000,000 円

平成 18 年度から市民会館・福祉会館に指定管理者制度を導入。

指定管理者：(財)取手市文化事業団

・使用料及び賃借料（照明機器リース料） 1,260,000 円

舞台用ピンスポットライトを 5 年間リース。

効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.394

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 5,147,670 円 (5,066,551 円)

[その他 119,000 円 一財 5,028,670 円]

\* 特財内訳

[諸収入：講座参加個人負担金(炎の祭り) 119,000 円]

目的

取手市に東京芸術大学取手キャンパスがあるという地域性を活かし、市民と芸大と

の交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

#### 内容

##### (1) 市内小中学校と芸大との文化交流

指導者謝礼：3,204,000 円（東京芸術大学指導者）

市内小中学校（24 校）と芸大との文化交流を実施し、小中学校の希望により美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：16 校 市内全 18 校中希望をした全校（絵画等主に描写の指導）
- ・音楽：8 校 市内全中学校（吹奏楽部の演奏指導）

##### (2) 第 12 回炎の祭りの開催

委託料：700,000 円（炎の祭り実行委員会）

取手キャンパスの登り窯を利用し、参加者 34 名が芸大陶芸科の指導のもと粘土制作、絵付け、登り窯での本焼きと一連の作業を行い、1 人 3,4 点を制作した。あわせて芸大教授による講演会を実施した。実施にあたっては、実行委員会を組織し、芸大、取手市及び実行委員会の三者共催とし、取手市から実行委員会に対して委託した。

- ・日程：10/22 講演会、10/25 粘土制作、11/8 絵付け、11/19 焼成体験、11/25 窯出し
- ・場所：東京芸術大学取手キャンパス

##### (3) 東京芸術大学卒業制作展市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円（500,000 円×2 名）

第 57 回東京芸術大学卒業制作展において優秀作品 2 点（日本画、工芸）に市長賞を授与した。受賞作品は福祉会館ロビーと本庁舎ロビーに展示した。

- ・日本画：築山弘毅「孤影」
- ・工芸（陶芸）：大野直志「万宝の星」

##### (4) 東京芸術大学音楽学部ミニコンサート

出演者謝礼：128,000 円（16,000 円×8 人）

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
9/27（土）	藤代公民館	ピアノ・声楽・バイオリン	4 人	130 人
12/6（土）	福祉交流センター	サクソホン四重奏	4 人	160 人

#### 効果

小中学校との文化交流事業について、美術は希望校全校に芸大生を派遣し取手市の特色ある教育として教育現場の一端を担った。音楽については、全中学校に派遣し吹奏楽部の指導を行ったが、小学校からの要望も出始めている。今後の課題である。

炎の祭りとミニコンサートについては、恒例の事業として認知されつつあり、好評を得ている。質の高い芸術にふれる場を市民に提供することにより、文化・芸術の推進に寄与することができた。

[担当：文化芸術課] P.396

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 17,640,133 円（8,037,329 円）

[その他 4,749,480 円 一財 12,890,653 円]

\* 特財内訳

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,749,480 円]

## 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行うとともに、東京芸大キャンパスが市内にあるという地理的環境を活かし、他市町村にはない、芸大の知識、技術、手法などを活用した文化によるまちづくりの推進を図る。

### (1) 壁画によるまちづくり

#### 内容

委託料：1,700,000 円（壁画によるまちづくり実行委員会）

平成 12 年度より、落書きや貼り紙の防止を主な目的として、地元小学生や、取手アートプロジェクト参加者、芸大学生などにより壁画制作を行ってきた。市民には大変好評であり、壁画が環境改善や防犯に大きな役割を果たしている。取手市はアートのあるまちづくりを目指していることもあり、平成 17 年度に芸大、市民、行政による壁画によるまちづくり実行委員会を立ち上げ、基本計画及び実施計画を策定し、毎年一作品を制作することとした。平成 20 年度は、国道 6 号大利根橋下無料自転車駐車場内橋脚に、薄暗い雰囲気を変え癒しの場となるような空間を創るべく、虹を案内役に日常の生活を描き、「人」「歴史」「自然」をキーワードに取手のまちをイメージした、9 作目となる「Rainbow road」という作品を制作した。

概 要	期 間
原画展示	5/28 6/30
ボランティア説明会	7/20
シーラー塗装	7/24
下塗り・下描き	7/25 7/29
描画	7/30 8/8
仕上げ	8/11 8/14
完成式	8/24

参加延べ人数：184 人

#### 効果

壁画を制作することによって、落書き、不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、美術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。また、市民の芸術活動を支援し、文化レベルの向上を図りながら、人的交流を促し健全な生活環境を整えるとともに、若い芸術家の育成に寄与した。

### (2) 取手アートプロジェクト 2008

#### 内容

補助金：4,000,000 円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクトは、市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して地域の特色を活かした芸術活動として行なっているプロジェクトである。

10年目となった20年度は公募展の年にあたり、「団地でレジデンス、あなたならどうする？」をテーマに全国から作品プランの募集、選出を行い展示した。参加者は公募枠に加え、ゲストプロデューサーとして建築家ユニットのみかんぐみを招聘。また、美術・デザイン・演劇の各ジャンルからそれぞれ齋藤芽生（画家）、生意気（クリエイティブユニット）、Port B（演劇ユニット）の3組がゲスト・アーティストとして企画に参加した。これに韓国との国際交流プログラムの6組を加えた総勢23組の作家が11月の会期に取手井野団地で作品を展開した。参加作家たちは会期前の1か月間、団地で生

活しながら制作を行った。滞在中には作家同士や団地住民との交流が生まれ、団地という場所を活かした作品づくりが行われた。

また、TAPの企画運営に携わる新規メンバーを募集しアートによるまちづくりの担い手を育成した。さらに市内小学一年生全員を対象とした児童画展 - 800人のいちねんせい「あー、いいにおい」の開催や、各小学校へアーティストを派遣する企画など芸術による環境整備も行った。

概 要	期 間
レクチャー（講義）	4月～9月の7日間
現地下見会	7/13(日)・7/20(日)
公開選考会	8/9(土)・8/10(日)
こどもプログラム アーティストの学校派遣（7校）	9/4(木) 10/3(金)
国際交流事業 韓国への作家派遣	8/1(金) 9/1(月)
国際交流事業 韓国からの作家招聘	10/10(金) 11/9(日)
第23回国民文化祭・いばらき2008 取手アートプロジェクト2008 取手井野団地 - 電気・ガス・水道・アート完備	11/1 16の金・土・日・祝 (9日間)
こどもプログラム 児童作品展 - 800人のいちねんせい「あー、いいにおい」 会場：キリンビール取手工場ゲストホール	11/1(土) 16(日) 11/10を除く
フォーラム 茨城県南芸術の門創造会議 ああとの祭り TAP&ARCUS ドキュメント+フォーラム 会場：茨城県つくば美術館	1/20(火) 25(日)
こどもプログラム オリジナルワークショップ	3/9(月)・3/13(金)

参加者総数：延べ 22,752人

マスコミ掲載件数：新聞・雑誌・テレビ 計 55件

#### 効果

全国公募による現代アート展と地域在住の作家たちによるオープンスタジオを交代で開催し10年が経過した。毎回さまざまなテーマで工夫がなされスケールも拡大し、若手アーティストの登竜門としてのステータスを獲得している。

プロジェクトを支えるボランティアスタッフによる自主的な企画運営が評価される場所である。アートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

また、これまでの活動が評価され、平成18年度に受賞した「地域づくり国土交通大臣賞」、平成19年度に「サントリー地域文化賞」、さらに今年度は「茨城県表彰功績団体表彰」を受賞している。

### (3) 井野アーティストヴィレッジ

#### 内容

井野団地ショッピングセンターはその多くが長らく空き店舗となっており、地元自治会からも対応を望む声が上がっていた。一方、東京芸術大学も当該ショッピングセンターを若手芸術家の創造の場として確保したいとの意向があり、協議を重ねた結果、空き店舗を若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸借提供することにより、地域の活性化を図ることを目的として平成19年12月より事業を開始した。

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗全 7 戸を市が都市再生機構より借り受け</li> <li>・ うち 1 戸は芸大が管理のため無償貸与</li> <li>・ 残り 6 戸は若手芸術家に「共同アトリエ」として賃貸</li> <li>・ 1 戸につき 2 名以上、利用期間 2 年</li> <li>・ 地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件</li> <li>・ 平成 20 年度に開催された国民文化祭期間中にオープンスタジオを行う</li> </ul>	
スタジオ 101 2 名	芸大による活動拠点、制作他運営管理
スタジオ 102 5 名	国籍、経歴、年齢の違う 5 人が写真、平面作品、映像、書、インスタレーションとそれぞれ違うジャンルで活動している。
スタジオ 103 9 名	東京芸術大学先端芸術科の大学院と学部の学生を中心としたスタジオ。それぞれが多様なメディア・手法で美術作品を制作している。
スタジオ 104 4 名	2008 年に東京芸術大学修士課程美術研究科先端芸術専攻を修了した 4 人によるアトリエである。主に絵画、写真など平面作品を中心に制作を行うとともに、評論活動、デザイン制作等多岐にわたる活動を展開している。
スタジオ 105 4 名	主に平面作品を手掛けるためのスタジオとして機能させている。メンバーは全員働きながら作家活動を続けている。
スタジオ 106 5 名	インスタレーション、彫刻、写真、プロジェクトなど各々が違った制作スタイルを持って活動している。
スタジオ 107 4 名	大理石モザイクやフレスコ画といったアカデミックな手法や素材を、現在における新しい表現手法として取り入れ、そのメリットを活かした作品制作に取り組んでいる。

#### 効果

現在 33 名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行っており、地域の活性化が図れ、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。また、国民文化祭開催中には井野団地で行われた現代アート全国公募展に合わせてオープンスタジオを行い、多くの人を訪れた。

[担当：文化芸術課] P.398

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,774,344 円 (8,465,796 円)

[その他 228,000 円 一財 6,546,344 円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 228,000 円]

#### 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

#### 内容

##### (1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
「幕末・維新の名士」 書幅・書額展	4/1 4/13	幕末から明治維新の時期に活躍した、吉田松陰、西郷隆盛等の名士が書いた書幅・書額等を所有者より借用して展示。	501 人

国民文化祭公式 ポスター デザインコンテ スト作品展	4/25 - 5/18	国民文化祭公式ポスターの、デザインコンテスト入賞作品や審査員の特別提供作品を展示し、国民文化祭のPRを行なった。	313人
取手市所蔵 作品展 「K A O ' S 」	7/3 - 7/24	ジェームス小野田(米米 CLUB)の顔をキャンバスに、石井竜也(米米 CLUB)がペインティングし、山岸伸が撮影。それを、コンピュータ・グラフィックスにより創出された作品約60点を展示。	412人
アートパーク	8/1 - 8/10	参加者に、大きな布に洋服が汚れてしまうくらい大きな絵を、思いっきり好きなだけ描いていただいた。出来上がった作品は、11月に行われた国民文化祭の期間中、取手市の会場で展示。	487人
鈴木草牛 素描画展・2	8/15 - 9/7	小川芋銭に師事し、後に取手に居をかまえ創作活動を行った、故鈴木草牛氏の素描画(龍ヶ崎市教育委員会所蔵)53点を展示。	640人
県展入選・ 市展入賞作品展	12/19 - 1/7	県芸術祭に入選及び市展に入賞された市民の作品展。	632人
グラフィカ 写真展	1/9 - 1/20	郷土茨城をテーマに追求してきた写真家集団グラフィカの写真展	407人
小中学校児童生 徒作品展	1/23 - 2/11	市内小中学生による絵画、書写、理科、統計(県展入選作品も含む)の優秀作品展。	2,026人
JOBAN アートラ イン ONLY ONE ポスター展	3/27 - 3/31	「ONLY ONE プロジェクト in 北千住」において制作したコンセプトポスター100枚と40枚の塗り絵ポスターを展示。	82人

### (2) アートギャラリー貸出実績

期 間	展 示 名
6/24 - 6/30	寺田秀子作品展「微風・2」(有料)
7/27	手作りの会(有料)
9/9 - 9/23	中学生絵画コンクール作品展
12/5 - 12/8	MOA美術館茨城県児童作品展
2/26 - 3/4	第17回 絵を描く仲間たち展(有料)
3/13 - 3/16	聖和会書道展(有料)

### (3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

#### ・利用件数

ギャラリー名	H20年度	H19年度
取手駅市民ギャラリー	51件	52件
藤代駅市民ギャラリー	30件	41件

藤代駅市民ギャラリーは通路の工事のため1か月半休止。

#### 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.398

3801 放課後児童対策事業に要する経費 147,883,842 円 (150,499,927 円)

[国・県 58,442,000 円 その他 63,733,500 円 一財 25,708,342 円]

\* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @40,718,600 × 2/3 27,145,000 円

放課後児童健全育成事業補助金 @46,946,296 × 2/3 31,297,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 22,458,500 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 41,275,000 円]

目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

内容

これまで実施していた子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校 18 校で開設。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学 1 年生から小学 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

夏休み等の長期休業日も子どもクラブを開設するため空調設備のない 15 校に空調設備を設置し施設の充実に努め、児童が快適に生活できる居場所を確保した。

(1)放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成 21 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	22	22	28	11	2	2	87
白山小	24	23	18	9	14	0	88
小文間小	3	10	5	3	3	0	24
寺原小	30	24	20	12	3	1	90
永山小	19	22	16	3	1	1	62
井野小	24	15	20	8	2	1	70
白山西小	7	10	5	5	7	1	35
戸頭西小	17	22	25	7	4	0	75
吉田小	9	25	20	6	3	1	64
戸頭東小	26	23	18	18	3	5	93
稲小	19	19	14	7	2	0	61
高井小	8	3	11	0	3	0	25
山王小	6	12	19	13	9	1	60
六郷小	13	18	21	10	8	1	71
藤代小	26	22	14	4	5	0	71
宮和田小	19	26	13	7	7	2	74
久賀小	21	10	6	4	1	0	42
桜が丘小	23	20	18	2	2	0	65

合 計	316	326	291	129	79	16	1,157
-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-------

(2)放課後子どもクラブ登録児童数（長期休業時利用登録者）

平成 21 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	5	6	4	20	19	17	71
白 山 小	2	2	6	14	10	4	38
小文間小	1	2	1	3	3	1	11
寺 原 小	1	0	2	3	6	0	12
永 山 小	4	3	7	12	6	7	39
井 野 小	3	1	4	1	3	4	16
白山西小	2	0	5	0	0	1	8
戸頭西小	4	2	4	10	6	6	32
吉 田 小	0	2	3	3	4	3	15
戸頭東小	5	0	6	5	8	0	24
稲 小	2	1	2	10	3	1	19
高 井 小	1	4	3	1	7	1	17
山 王 小	0	0	0	2	0	1	3
六 郷 小	1	0	1	1	0	0	3
藤 代 小	3	2	7	3	1	1	17
宮和田小	10	1	4	1	4	0	20
久 賀 小	3	7	3	4	2	0	19
桜が丘小	5	3	19	5	5	0	37
合 計	52	36	81	98	87	47	401

効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、全学年・全児童を対象とした事で異学年間の交流も図ることができた。

[担当：文化芸術課] P.400

4101 国民文化祭に要する経費 7,271,347 円（1,492,144 円）

[一財 7,271,347 円]

目的

国民文化祭は毎年各県で順次開催される国内最大の文化・芸術の祭典であり、第 23 回大会を茨城県で開催した。この国民文化祭は、文化活動への参加の意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促し、併せて地方文化がさらに発展し、国民の生活がより一層充実することを目的とする。取手市においても 3 事業を開催することにより、市を積極的に全国へ発信し、まちづくり・地域づくりに繋げ、市民の文化・芸術活動の更なる活性化を図る。

内容

取手市では邦楽・現代アート・広域文化交流事業（取手市、牛久市、守谷市）を実施した。

- (1) 職員手当等（開催期間 11/1～11/9 56 人分 時間外・休日勤務手当）：1,513,692 円
- (2) 旅費（打合せ・会議等）：19,950 円
- (3) 国民文化祭取手市実行委員会負担金：5,737,705 円

事業名	事業費	開催期間	内 容
邦楽の祭典	2,636,907 円	11/2 11/3	全国の邦楽愛好者が一堂に集い、邦楽三曲（箏・尺八・三絃）の演奏を披露し、古典芸能の素晴らしさを全国に発信した ・こどもワークショップ 11/2(日) 箏体験教室の開催 参加者数：15 人 ・邦楽の祭典 11/3(月・祝) 全国の邦楽団体 20 団体による演奏と、ゲスト（日本音楽集団、東京芸術大学）による演奏会 来場者数：1,080 人
現代アートフェスティバル in 取手	2,123,617 円	11/1 16 (金・土・日・祝の計 9 日間)	取手アートプロジェクトによる現代アート公募展を国民文化祭の一事業として開催。 来場者数：22,752 人
アートトライアングル 取手・牛久・守谷	1,000,000 円	11/1 11/9 (アート屋台は土・日・祝のみ)	取手、牛久、守谷の 3 市をアートトライアングルゾーンと捉え、それぞれの分野別事業に加え、3 市の文化的特徴に基づいた独自のアートプログラムを展開し、市民や芸術家を始め国民文化祭に訪れた人々の交流を促進した。 ・アートトライアングルバスツアー 3 市の会場を巡るツアーを 3 日間開催 参加者数：3 コース計 87 人 取手会場 ・取手美術のあゆみ展(東京芸術大学美術館 取手館) 来場者数：2,287 人 ・アート屋台(取手駅西口ペDESTリアンデッキ) ・アーティストショップ(とりでアートギャラリー「きらり」) 来場者数：1,481 人

総事業費 5,760,524 円と負担金 5,737,705 円との差異 22,819 円は預金利子による。

#### 効果

- ・市内外の文化・芸術団体・アーティスト・市民ボランティア等が、国民文化祭の成功という目標に向かって地域や世代を超えた交流や連携強化がなされ、文化・芸術活動が活性化された。
- ・各事業とも多くの来場者で賑わい、全国から参加された団体や作家の素晴らしい演奏や作品を身近に鑑賞することができ、好評を得ることができた。
- ・市民や市外からの来場者に文化・芸術のまちを発信することができた。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.400

0501 公民館事務に要する経費 67,219,864 円 (87,829,998 円)

[その他 12,961,564 円 一財 54,258,300 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 12,495,000 円]

[諸収入：コピー使用料 435,934 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：電話通話料 3,120 円]

[諸収入：賠償保険料還付金 17,010 円]

#### 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

#### 内容

主な工事等	・藤代公民館 1 階空調機設置工事	9,660,000 円
	・井野公民館屋上防水改修工事	2,835,000 円

#### 効果

工事を実施したことで、利用者の利便性・安全性が向上した。

[担当：公民館] P.404

2101 公民館活動に要する経費 2,034,080 円 (2,113,405 円)

[一財 2,034,080 円]

#### 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

#### 内容

##### (1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	サマースクール	7~8月 6館	13	308	子供クッキング、トールペイント、タイル絵、お話マラソン会、おりがみ、ホタルの里探索、木材自由工作、レザークラフト等の講座を、取手地区公民館で実施した。
	夏休みキッズスクール	7月	1	25	小学生を対象。健康調理実習と健康講座を藤代公民館で開催。
	平和映画会	7~8月 5館	5	190	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。
	ラベンダースティック講座	6月	1	15	公民館の庭に咲くラベンダーでスティックと香り袋を作成する講座を開催した。
	和太鼓教室	7月	1	10	盆踊り大会に備えて、和太鼓教室を開催した。

	昔の遊び	10~2月 2館	3	73	ベーゴマやあやとりなどの昔の遊びを中心に、今の遊びや卓球などを行った。
	お菓子作り	10月	1	21	小学生でも簡単に作れるお菓子を作り、手作りの楽しさを体感した。
	親子で楽しむクリスマスケーキ作り	12月	1	24	親子でクリスマスケーキを作る楽しさを学んだ。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	子どもふれあいスクール事業他	10~3月	5	430	新春子どもの集い、たこ作り教室、世代間交流事業ほか講座を開催した。
婦人	婦人学級	年間	各学級 <sup>11</sup> ~ <sup>12</sup>	1学級 21人~53人 8学級(269人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 <sup>11</sup> ~ <sup>12</sup>	1学級につき 23人~96人 3学級(165人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見出した。
	藤代学園	年間	11	150	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成人	取手生活学校	4~3月	12	15	移動学習等を通じ、主体的に活動した。
	囲碁講座	4~8月	12	48	初心者を対象に、囲碁の楽しさを学んだ。
	ふるさと講座	4~11月	7	264	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	はじめてのフラダンス講座	6月	3	57	初心者向けのフラダンス講座を開催した。
	パソコンを使ったプリント講座	6,12月	2	34	パソコンを使って写真や画像をTシャツやエコバックなどにプリントした。
	着付け	6~12月 2館	4	41	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	台風・地震対策について	8月	1	8	自然災害に備える知識を身につけた。
	手作りパン教室	9月 3館共催	2	40	簡単にできるパン教室を実施した。
	健康な体づくりを学ぼう	9~10月	4	56	メタボ解消を目指し、調理実習と運動講座を2回ずつ開催。
	青春のポップコンサート	10月	1	54	昔懐かしいポップスから演歌の演奏会を楽しんだ。
	そば打ち	11月 3館	3	60	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	絵手紙講座(入門編)	11月	1	12	絵手紙を通じて、作品に気持ちを表現する楽しさを学んだ。

	郷土史講演会 ～平将門～	11月	1	32	市内に残る平将門ゆかりの史跡について講演会を実施した。
	しめ飾り講座	12月 8館	8	252	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	男の料理教室	1月	3	36	男性を対象の料理教室を開催し、料理を作る楽しさや難しさを学んだ。
	抹茶の点て方	2月	1	10	永山公民館まつりの一環として開催。
	お父さんのつどい	11月	1	24	高須地区のお父さんの視察研修。(つくば方面)
	お母さんのつどい	3月	1	27	高須地区のお母さんの視察研修。(松戸方面)
一般	公民館まつり	2～3月 12館	1	6,600	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。
	ソフトボール大会	7～12月 4館	4	427	スポーツ(ソフトボール・ビーチボールバレー)の振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビーチボール バレー大会	6,7月 2館	2	125	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ゲートボール 大会	10月 2館共催	1	50	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ペタンク大会	10月	1	80	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	夏まつり 盆踊り大会	8月 4館	1	1,870	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。小文間は小文間音頭の伝統を伝え、踊りの普及にも寄与した。
	親子ふれあい フェスティバル	7月	1	168	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいかわり等を高須公民館で実施した。
	ファミリー ウォークラリー	3月	1	100	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催した。
	運動会	9,10月 4館	1	1,600	小文間、六郷、山王は小学校と合同、相馬は単独で開催。健康増進と地域親善を目指した。
	たこあげ大会	1月	1	30	正月の風物詩たこあげで地域間・世代間の親睦を図った。
	菊花展	10～11月 2館	2	194	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	さつき展	6月	1	64	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマス コンサート	12月	1	150	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
親子で自然と 遊ぼう	5～3月	4	130	親子で自然と触れ合いながら、野鳥や昆虫の探索を行った。	

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H20	347	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H19	346		
小文間公民館	H20	332	1,235	12,474
	H19	331	1,277	11,463
永山公民館	H20	332	1,691	23,016
	H19	331	1,695	21,937
寺原公民館	H20	332	2,059	30,884
	H19	331	2,099	30,784
井野公民館	H20	332	2,831	47,529
	H19	331	2,824	48,377
戸頭公民館	H20	332	2,858	40,145
	H19	331	2,910	40,539
白山公民館	H20	332	2,240	36,181
	H19	331	2,135	37,038
藤代公民館	H20	332	2,492	41,180
	H19	331	2,510	41,752
山王公民館	H20	332	586	6,131
	H19	331	556	5,361
六郷公民館	H20	332	1,048	15,076
	H19	331	858	13,269
相馬公民館	H20	332	1,165	14,520
	H19	331	1,144	14,451
相馬南公民館	H20	332	1,495	19,412
	H19	331	1,589	19,863
高須公民館	H20	332	362	4,712
	H19	331	353	4,977
久賀公民館	H20	332	958	12,311
	H19	331	1,012	16,016
計	H20		21,020	303,571
	H19		20,962	305,827

効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.406

2001 図書館管理運営に要する経費 23,334,232 円 (23,307,036 円)

[一財 23,334,232 円]

目的

市民の図書館として、安全で快適な環境を提供し、適切な施設の維持管理を図る。

内容

施設の管理運営上、必要な維持管理を行った。

効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P.406

2101 図書館活動に要する経費 43,398,073 円 (41,459,853 円)

[その他 271,816 円 一財 43,126,257 円]

\* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 196,270 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 75,546 円]

目的

市民の多様化するニーズに応えるよう、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努める。

内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (利用者 784 組 1,581 冊 713,800 円)  
幼児・児童向け読み聞かせ (のべ 130 回開催 参加者 1,735 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援 (司書教諭との合同会議および研修 1 回)  
学校訪問お話し会 (市内小学校 1322 名)
- ・図書館だより ライブラリープラス (6 回発行) ・ほんバナ (6 回発行)
- ・その他行事開催 検索機 OPAC 講習会開催 (6 日間開催 参加者 144 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H20	676	3,191	2,398	2,427	3,019	4,490	7,796	5,724	4,960	9,506	44,187
H19	601	3,308	2,421	2,550	3,799	6,726	10,055	6,422	6,359	10,496	52,737

(3) 利用状況

・入館者数・館別貸出者数・貸出冊数

館名	入館者数 (単位：人)		貸出者数 (単位：人)		貸出冊数 (単位：冊)	
	H20	H19	H20	H19	H20	H19
取手図書館	182,250	187,056	88,743	86,553	299,164	297,743
ふじしろ図書館	180,667	184,632	69,487	76,431	225,923	220,987
戸頭公民館図書室			41,966	40,439	132,059	128,368
小文間公民館図書室			251	359	580	764
寺原公民館図書室			2,985	2,373	6,991	5,634
永山公民館図書室			488	471	1,300	1,142
ゆうあいプラザ図書室			3,003	3,140	7,726	8,488
井野公民館			1,274	992	2,573	2,121
取手駅前窓口			3,523	2,966	6,588	5,817
山王公民館			61		102	
六郷公民館			173		413	
相馬南公民館			324		600	

久賀公民館			22		44	
合計	362,917	371,688	212,300	213,724	684,063	671,064

・予約（リクエスト）月別利用状況

月別	予約（リクエスト）件数（件）	
	H20	H19
4月	7,770	7,433
5月	8,567	7,308
6月	5,035	6,632
7月	8,925	7,752
8月	9,285	7,841
9月	8,409	7,567
10月	9,268	7,775
11月	8,570	7,705
12月	8,302	7,741
1月	8,257	7,945
2月	8,504	8,085
3月	8,243	7,991
合計	99,135	91,775

効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。図書館電算システムを更新し旧藤代地区の公民館にも専用端末機をおき、サービスの向上を図った。また、ブックスタート事業を引き続き実施し、乳児と本との出会いの場を創出するとともに、子育て支援に貢献した。

[担当：図書館] P.410

2201 図書館資料購入に要する経費 32,175,734円（36,077,704円）

[その他 105,727円 一財 32,070,007円]

\* 特財内訳

[諸収入：図書弁償代 105,727円]

目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館名	図書（単位：冊） <sup>1)</sup>		雑誌（単位：種類）		AV（単位：件）	
	H20	H19	H20	H19	H20	H19
取手図書館	141,553	138,546	101	73		
ふじしろ図書館	101,790	95,467	106	112	3,827	3,502
戸頭公民館図書室	57,228	60,313	33	31		
小文間公民館図書室	2,216	2,282				
寺原公民館図書室	5,288	5,372				

永山公民館図書室	4,735	4,945				
ゆうあいプラザ図書室	11,989	11,815				
合 計	324,799	318,740	2) 207	2) 185	3,827	3,502

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。2)同じ雑誌の誌名は誌とみなす。

#### 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

### 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P.410

2001 文化財保護に要する経費 11,539,790 円 (21,856,629 円)

[その他 80 円 一財 11,539,710 円]

\* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 80 円]

#### 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料である。そのため文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

#### 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (11,265,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	補助率 1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	10,000	60,000	
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地蔵ケヤキ(高源寺)	10,000		308,000 [樹勢回復事業]
	長禅寺 三世堂	10,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	50,000	10,000 [文化財防火デー(定額)]
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	35,000	10,555,000 [保存修理(山門解体)]
	白山神社 本殿	10,000	36,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来座像(金仙寺)	10,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣（10月31日～11月9日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
10/31～11/11	特別公開	662人	本陣・染野家に送られた水戸藩主直筆掛軸の特別公開
11/1～3	掛け軸公開	565人	
11/9（日）	講演会	26人	「市指定文化財東漸寺観音堂・山門修理にあたって」 講師：東京芸術大学大学院 非常勤講師 中村文美氏
合 計		688人	

長禅寺三世堂（11月2日～11月4日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/1～11/3	内部特別公開	758人	

(3) 文化財防火デー（1月26日）に伴う防火訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者に協力してもらい、毎年総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/26	八坂神社 本殿・拝殿	50名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

(4) 文化財・史跡説明板等修理計画の作成

教育委員会で設置、管理している指定文化財や地域の文化財・史跡の説明板42ヶ所55基の老朽化に伴い、修理を計画的に進めるために現状調査し、修理計画を作成した。

効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P.412

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 9,391,911円（15,984,491円）

[その他 240,000円 一財 9,151,911円]

\* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H20	週3日 (金・土・日)	155日	4,647人	30.0人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・希望する団体には職員が説明を行った。
H19	〃	119日	4,511人	37.9人	〃

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：1,538,610円

内 訳	支 出 額
賃金（公開日の管理・清掃）	1,498,625円
消耗品費（パンフレット用紙等）	39,985円

- ・維持管理に関する経費：7,853,301円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	5,651,186円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	766,500円
防災（設備点検委託、機械警備委託）	255,150円
火災保険料	70,737円
光熱水費等	267,973円
修繕料（消火ポンプ自家発電機修繕他）	362,955円

効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。

[担当：教育総務課] P.414

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 4,193,456円（7,957,169円）

[国・県 2,500,000円 その他 47,700円 一財 1,645,756円]

\* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 4,000,000×1/2以内=2,000,000円]

[県補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 (4,000,000 - 国補2,000,000)×1/4以内=500,000円]

[諸収入：郷土史売却代 47,700円]

目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要（国・県補助事業）

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施した。（事業経費：4,043,085円）

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
台道南 遺跡 個人住宅・331.51 m <sup>2</sup>	7/3	職員対応	遺構・遺物なし
中妻貝塚 C 地点 保存目的・308.59 m <sup>2</sup>	9/17 ~ H21.1/15	賃金 327,459 円 (作業員 55 人) 委託料 1,424,093 円 (作業員 275.5 人) 使用料 216,300 円	縄文時代貝塚・埋嚢 埋葬人骨・縄文土器片出 土
稻向原 遺跡 宅地造成・892 m <sup>2</sup>	9/18	使用料 67,200 円	遺物・遺物なし
台道南耕地地内 工場・133.03 m <sup>2</sup>	10/1 ~ 3	使用料 165,900 円	遺構・遺物なし
花輪台遺跡 宅地造成・450 m <sup>2</sup>	H21.2/6	職員対応	遺構・遺物なし
神明遺跡 保存目的・341 m <sup>2</sup>	H21.2/17 ~ H21.3/31	賃金 167,591 円 (作業員 31.5 人) 委託料 627,883 円 (作業員 121.5 人) 使用料 204,750 円	縄文時代炉跡・埋嚢 埋葬人骨・縄文土器片・ 石器出土
市内遺跡整理	10/1 ~ 3/31	賃金 600,900 円 (作業員 138 人)	平成 20 年度に実施した 調査の出土品整理。
中妻貝塚出土資料年 代測定業務委託	2/25 ~ 3/31	委託料 199,920 円	中妻貝塚 C 地点から出 土した遺物について、炭 素年代測定を委託した。

#### 効果

平成 20 年度は、5 遺跡 6 件の確認調査で、縄文時代貝塚から奈良・平安時代の包蔵地を調査し、埋葬人骨や土器など貴重な資料が多数出土した。また、本年は市指定史跡の中妻貝塚において炭素年代測定調査を委託し、貝塚の形成年代を科学的に裏づけるデータを得た。これらの調査により、重要な市内遺跡が破壊されることを防ぐことができた。また貴重な資料が多数得られた。

[担当：教育総務課] P.414

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 710,718 円 (628,059 円)

[一財 710,718 円]

#### 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

#### 内容

##### (1) 年間来館者数

年 度	平成 20 年度	平成 19 年度
来館者数	4,601 人	4,699 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 23 回企画展 「江戸時代の 取手 - 相馬 二万石と谷原 三万石 - 」	20/2/19 ~ 4/18 開館 52 日 内 4/1 以降 16 日	2,213 人 (42.6 人) 4/1 以降は 686 名	報償費、印刷 費は平成 19 年度予算で 対応(4/1 以 降は支出無 し)	江戸時代初めの新田開発による、相馬二万石・谷和原三万石の村々の成立を紹介し、現在の取手市の基盤を作り上げた先祖の労苦を偲んだ。 4/5 公開講座「永禄 4 年の取手 - 小文間城主一色氏の興亡 - 」 参加者 159 名、講師：センター職員（取手市郷土史研究会と共催） 4/11～13 龍禅寺三仏堂内部特別拝観 拝観者 402 名
第 24 回企画展 「縄文時代の 研究と中妻貝 塚」	7/22～9/29 開館 60 日	1,141 人 (19.0 人)	報償費 20,000 円 印刷費 267,750 円 (ポスター、解説 図録)	市内の代表的な縄文時代の遺跡である「中妻貝塚」発掘調査の研究史と、その成果を紹介した。 9/6 講演会「中妻貝塚研究の歩み」 参加者 101 名、講師：領塚正浩氏（市川考古博物館学芸員）
第 25 回企画展 「幕末・明治維 新期の取手」	21/2/16 ~ 4/19 開館 63 日 内 3/31 まで で 44 日	2,553 人 (40.5 人) 内 3/31 まで で 1,289 人	報償費 20,000 円 印刷費 325,500 円 (ポスター、解説 図録)	幕末・明治維新期の取手の歴史を概観するとともに、この時期に活躍した取手ゆかりの人びとの業績を紹介した。 3/7 講演会「取手市域の草莽剣客 宮和田又左衛門光胤」 参加者 129 名、講師：宮地正人氏（東京大学名誉教授） 3/28 公開講演会「相楽総三と赤報隊の同志たち - 取手と周辺地域の足跡を追う - 」 参加者 161 名、講師：西澤朱実氏（歴史研究家）（取手市郷土史研究会と共催）

効果

平成 20 年度の来館者数は、19 年度に次ぐ来館者数であり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にする気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.418

1001 体育指導委員に要する経費 1,602,570 円 (1,744,100 円)

[一財 1,602,570 円]

目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によりニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 日額 6,300 円×のべ 177 人 = 1,115,100 円

効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.418

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,652,000 円 (11,017,000 円)

[一財 9,652,000 円]

目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29 部 214 団体	6,174 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11 連盟 40 単位団	指導者 352 人 団員 1,165 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各講習・研修会への参加

効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.420

2002 社会体育振興関係経費 1,076,029 円 (1,148,998 円)

[その他 550 円 一財 1,075,479 円]

\* 特財内訳

[諸収入：ビーチボールバレー用ボール売却代 550 円]

### 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

### 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

#### (1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第13回 小学生ドッジボール大会	303人	取手グリーンスポーツセンター
第40回 市民釣り大会	28人	さくら湖(小掘地先)
第39回 市民ゴルフ大会	191人	利根パークゴルフ場
第5回 市民親善ソフトボール大会	288人	取手緑地運動公園
第17回 ソフトバレーボール大会	275人	取手グリーンスポーツセンター
第9回 グラウンドゴルフ大会	105人	取手緑地運動公園
ニュースポーツ体験会	23人	福祉交流センター
第37回 新春健康マラソン大会	2,131人	取手緑地運動公園
第16回 ふれあいウォーキング	244人	小貝川ヘルスロードコース
第3回 市民ペタンク大会	216人	北浦川緑地

### 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.420

2003 スポーツ振興奨励関係経費 944,000円(1,315,000円)

[一財 944,000円]

### 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

### 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。また各町内会で実施されている運動会に対し助成した。

奨励金交付対象 ・団体 11件 ・個人 37件

運動会助成交付地区名 ・白山町内会、台宿町内会

### 効果

奨励金制度を充実することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.420

2101 学校施設開放に要する経費 580,065円(604,102円)

[一財 580,065円]

## 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

## 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H20	235 団体	365,109 人	25 校	58
H19	227 団体	355,538 人	25 校	58

## 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.420

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 128,220,096 円  
(130,076,420 円)

[一財 128,220,096 円]

## 目的

生涯学習の拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

## 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・指定管理料 125,146,000 円

## 利用状況

(単位：人)

施設名	H20	H19	増減
室内プール	92,655	85,013	7,642
遊水プール	16,854	16,348	506
第一体育室	52,917	51,569	1,348
第二体育室	9,756	8,730	1,026
トレーニング室	40,970	38,634	2,336
柔道場	10,922	10,690	232
剣道場	10,696	12,314	1,618
弓道場	10,236	10,767	531
スポーツサウナ	233	283	50
健康相談室	68	84	16
スポーツ障害相談室	286	246	40
研修室	6,739	7,604	865
会議室	936	1,100	164
和室	748	748	147
その他	15,802	13,077	2,725
合計	269,671	257,207	12,464

## 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.420

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 35,487,120 円 ( 32,536,585 円 )

[その他 6,133,290 円 一財 29,353,830 円]

\* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,559,600 円]

[使用料：野球場使用料 1,346,250 円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 450,900 円]

[使用料：総合体育館使用料 2,743,400 円]

[諸収入：コピー使用料 33,140 円]

## 目的

生涯スポーツ振興の拠点として、藤代スポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適切な維持及び管理を行うことで、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

## 内容

(単位：人)

施設名	H20	H19	増減
アリーナ	29,729	29,566	163
レクリエーション室	3,094	4,342	1,248
多目的グラウンド	10,378	9,059	1,319
野球場	12,194	12,920	726
藤スポ・テニスコート	9,845	10,219	374
久賀テニスコート	677	836	159
会議室	1,175	811	364
合計	67,092	67,753	661

## 効果

年間を通じて、市民のスポーツ振興の拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.422

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,700,414 円 ( 4,718,956 円 )

[一財 4,700,414 円]

## 目的

藤代武道場の円滑な管理運営を図ることで、市民の健康増進と団体相互の交流を深める。

## 内容

(単位：人)

施設名	H20	H19	増減
柔道場	13,380	13,660	280
剣道場	14,257	17,052	2,795
弓道場	2,357	2,439	82

師 範 室	1,167	1,522	355
合 計	31,161	34,673	3,512

効果

幅広い年代層の利用により、市民の健康増進や交流に寄与することができた。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.426

2001 給食センター運営に要する経費 132,531,393 円 ( 135,080,203 円 )

[その他 123,728,316 円 一財 8,803,077 円]

\* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 3,009,455 円]

[諸収入：小学校給食代(センター分) 77,469,672 円]

[諸収入：中学校給食代(センター分) 43,249,189 円]

目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材費、手数料(職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査)及び負担金等である。

効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：保健給食課 H21 学務給食課] P.426

2101 給食センター施設整備に要する経費 37,274,845 円 ( 29,085,060 円 )

[一財 37,274,845 円]

目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

### (1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,408,151
修繕料	調理器具等修繕料	2,482,667

### (2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	13,298,615
電気保安業務委託	電気設備の安全管理	126,000
受水槽清掃委託	受水槽の清掃	105,000
空調機保守点検委託	空調機の保守点検	49,350
真空冷却機点検委託	真空冷却機の点検	336,000
ガス空調機保守点検委託	ガス空調機保守点検	437,850

汚水・排水処理施設清掃点検委託	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,053,800
ボイラー設備総合管理委託	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃	787,500
冷凍・冷蔵設備保守点検委託	冷凍・冷蔵設備の点検	136,500
高窓・排気ダクト清掃委託	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	215,250
警備委託	施設警備	176,400

(3) 備品 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
フードスライサー	野菜切り機の購入	1,176,000

(4) 工事請負費

項 目	内 容	金 額
屋根塗装改修工事	屋根塗装及び防水改修工事	3,549,000
空調設備改修工事	検収ホール及び 2 階休憩室・食堂の空調設備改修工事	4,567,500

効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。